

フェリーペ・フィゲロアさん発言要旨

2006年3・4月、日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会の集会にて

ベネズエラ革命の現状

はじめに

現在、私たちは、ベネズエラにおいてボリーバル革命という革命の過程の中におります。それは、ウーゴ・チャベス大統領によって指導され、私たちの国民の大多数によって支援されています。

彼が大統領としての選出されたことによって、ボリーバル的思想にもとづく、真に国民を含む民主主義の集団的建設、国民が参加する建設の流れが切り開かれました。その思想とは、エリート政府に対して国民的政府、資本主義的蓄積に対して連帯的経済、持続可能な人間的、社会的発展のためにわれわれの資源に対する主権を回復することです。

チャベス大統領は、政府を掌握して数ヵ月後に、共和国を再建するための政治的機関として憲法制定議会を大統領令で召集しました。この過程の結果、ベネズエラ・ボリーバル共和国の憲法が生まれ、1999年12月15日、国民投票においてベネズエラ国民の多数によって承認されました。憲法は、国民が主人公の参加型民主主義、多人種、多文化の民主主義社会を定めており、その民主主義の中で、自由の価値、独立、平和、連帯、共同の利益、領土保全、共存、現在および未来の世代のために法律を厳守すると定めています。憲法は、共和国を、法と正義にもとづく社会的民主主義国家と規定しています。

2001年、国会は、新たに憲法によって制定された規定にしたがって法律的枠組みを採択するために、政府によって準備された49の法律を承認しました。これらの法律は、中でも、農業改革、石油についての主権の保障、小規模漁業の保護、金融機関の社会的責任、協同組合の推進を述べています。

憲法は、代議制民主主義に対する対案モデルを提起しています。といたしますのは、代議制民主主義は、富裕、排除、貧困によって特徴づけられる社会の一層の進展を許してきたという不十分さをもっているからです。したがって、新憲法は、大陸のもっとも進歩的な人道的な権利と義務の憲章となっており、大きな変革を推進しています。その変革とは、一方では、国民への権力の付与、社会正義、権利と義務を対等なものとする社会の追及を保障する機構として、参加型、双方向型の民主主義のモデルです。そして他方では、経済の社会的機能の中に、経済関係の規制者としての国家の役割を定めて、連帯的、持続可能な経済制度を規定しています。

革命の6年の諸成果

公正な法律と法制面

法律と正義にもとづく民主的社会的国家としてのベネズエラ・ボリーバル共和国の憲法は、先住民の国民としての権利、市民的、政治的、社会的、経済的、文化的、環境的諸権利を広範に承認しており、参加型民主主義とともにあらゆる水準における公的活動による管理が必要であると指摘しています。また、憲法は、連帯的経済制度について制定しています。それらは、環境保護のための進歩的社會規定、農業改革、連帯的経済、銀行・公共サービスの管理、エネルギー・石油に対する民族主権です。

参加型民主主義：多数者の利益に役立つ民主主義の再構築、国民が公的な活動に直接参加するための組織づくり（地域住民計画委員会、水道技術会議など）、社会的、政治的参加の場所の推進、社会的管理の急進化（社会管理委員会）、政府と国民の直接の対話、国内の発展のための軍隊の参加。

社会的分野：先住民の尊厳の向上、社会的権利と関係するサービスの一般化、大規模の識字運動、成人あるいは学校教育制度から排除された人々への柔軟な小学校、中学校、大学教育、また大学の各地方行政区での設置、食糧安全保障計画、排除された住民への医療の総合的な支援、最低賃金水準による年金制度、総合的かつ参加型の農業改革。

連帯的民族自決—国際面で：野蛮な新自由主義への一貫した批判、諸国民の間の国際的協力を人道的に進めるための提案。公正で連帯的な新しい国際秩序のための多極性の擁護。ボリーバルの理想を基礎としたラテンアメリカの統合の推進。米州自由貿易圏（F T A A = A L C A）の打倒のための主体的な参加。現在の世界の要求のための代案の提起。

ボリーバル的社會諸計画：これらの計画は、法律と正義にもとづく新しい社会的国家の基本的な構成要素です。かつて社会から排除されていた人々は、他の人々と一緒に、今や社会に包摂されており、学び、能力を向上させ、組織に参加し、新たな文化のために奮闘しています。

社会的諸計画は、新しい現実を作りだしており、文化、心理、思想、哲学の面で新たな意識を生み出しています。

資本主義制度は、経済的エリートの利益と多数者の貧困のために労働者大衆の賃金労働の搾取によって支えられています。この意味で、労働者は、権力への従属と富の蓄積という邪悪な仕組みにおけるひとつの歯車にしかすぎません。経済エリートの政治的権力は、代議制民主主義と国民の抗議に対する抑圧という機構によって保障されているのです。

国民の権力：500年にわたる不平等と搾取、1世紀にわたる野蛮な資本主義は、すさまじいまでの不平等と搾取の結果を残しました。こうした状況に対処するための唯一の方法は、国民への権力の効果的な付与であり、知識の獲得、医療、組織化を進めることです。社会諸計画は、これらの貧困化した大多数のひとびとに権力を与えることを目的とし

ています。

国民の組織化と権力：社会諸計画は、地域住民共同体を社会的、政治的、経済的に組織して、国民の権力を作り上げ、ポリーバル政府が進めているいろいろな計画において批判的に参加することができるようにすることです。

奇跡計画：キューバ共和国の協力により13万人以上のベネズエラ国民が、視力を回復する恩恵に浴しました。この計画を通じて、患者はキューバに旅行し、キューバ人の専門家たちによる無料の視覚障害治療を受け、視覚と普通の生活に参加する完全な能力を回復しています。

居住区に入ろう計画：

目的：生活の質の向上をめざして、総合的医療制度を通じて、社会的に排除された住民の医療サービスへのアクセスを保障する。

成果：1400万人以上が基礎的治療を受け、必要な医薬品は完治まで無料です。これまでに4500万件の治療が行われ、1500万件の医療教育活動が行われています。

範囲：2万5000人以上の医師が、1600万人、ベネズエラ人口のほぼ75%に当たる低所得の住民に医療サービスを提供しています。

メルカル（人民の店）計画：飢餓からすべての住民を守るために、必要な食料と栄養を満足させるために食料を供給しています。基本的には低所得層に連帯的な補助金価格でより安く直接販売しています。また、移動食料販売店が全国で2000箇所以上にあります。住民の事情にしたがって、支払い可能な料金で食事を提供する人民食堂のような、その他の計画もあります。

食事の家：極貧層、絶対的貧困を保護するための食堂です。学校の食堂もあります。

農業改革・農村の総合的発展：1859年エスキエル・サモラが、「土地と自由な人間」というスローガンのもとに農民軍を召集しました。その後の歴史の中で、旧体制の友人たちは土地の不法な分与の利益を受けました。それゆえ、ベネズエラでは、5%の地主が80%の土地を所有するという土地集中の劇的な数字が残っているのです。それらの土地の権利は、しばしば捏造されたり、偽造されたりしたものです。

これまで、10万家族以上の農民に200万ヘクタール以上が再分配され、数十のサモラ農場が作られ、農村の総合的発展の舞台となっています。

サモラ計画は、土地の民主化の過程を、また食糧安全保障を強化することを目的としています。そのため、種子、機械、農業指導、経済援助、研修を支援し、総合的発展のための農民の連帯的な組織化を推進しています。

見つめなおそう計画：この計画は、2004年初頭に創設され、貧困と地域住民共同体の社会的排除された人々を克服するためのたたかいにおいて前衛的な方法です。同様にまた内発的発展のモデルに向かっての前進のための方法でもあります。この計画は、生産の

社会的関係の変革、失業者を地域の発展過程に組み込むという文化的変革でもあります。職業的、思想的研修。内発的発展の核を通じて全国の発展の軸に関連して、共同経営あるいは自己経営による生産活動によってこの計画は進められています。協同組合の推進によって資本主義生産関係を変革することが探求され、共同の利益を基礎として協同組合員や独立生産者のネットワークが形成され、その生産活動において地域と全国の発展の目的が結び付けられています。組織化に関する助言も行われ、全国でこの計画を調整している担当省の国民経済省の傘下に政府によって創設された小規模金融機関による資金援助も行われています。

黒人イポリータ計画：

この計画は、ポリバルの乳母黒人のイポリータの栄誉をたたえて付けられた名前です。

目的：私たちの社会のもっとも劇的な諸問題と取り組むものです。街頭で生活している子供たちの状況は、飢餓的資本主義の犠牲者であり、この子供たちに尊厳ある生活のために社会的支援を行う計画です。

住居及び住宅計画：2002年、政府は、低所得層の居住区において土地所有の規制を行うために市街地委員会を創設しました。

水道技術会議：低所得層居住区において公共サービスの可能性と水準を向上させることを目的としています。

より人間的で、生産的で、連帯的な住宅を通じて、過去40年間支配的であったモデルを変革し、社会化された人間に相応しい住居として理解される住宅問題を優先させています。

地域住民共同体に資材や用具を与えて、彼ら自身が社会的住居問題を解決するためにみずから行動するよう能力を向上するよう、指導されています。

新しい社会主義への道：

社会諸計画は、ベネズエラ国民およびチャベス大統領の政府を、政治、社会、経済、文化の面で革命を強化するように後押ししています。そして、これらの諸計画により貧困を終わらせ、真に自由で民主的な社会、そこには私たち全員が包摂されるような社会を集団的に建設することを目的としています。そのためには、資本主義に終止符を打ち、法律と正義に基づく民主的で社会的な新しい国家を強化することが必要不可欠です。

社会諸計画は、私たち国民が21世紀の新しい社会主義に向かって移行するという民族自決の過程において、前衛の役割を担っています。シモン・ポリバルの国の国民の主権に基づいた決定によって進められている民主的、平和的革命は、とどまることのない計画で、第二の独立のためのたたかいでもあります。これらのイニシアチブは、ラテンアメリカの統合の方向に向かって進んでおり、米州のための対案（ALBA）という提案に具体的に示されています。

今日、社会主義は、引き続き諸国民の希望となっています。